

HTBasic が HP BASIC と異なる点

このセクションでは、HTBasic for Windows と HP BASIC 200/300/400/700 (RMB)との最も一般的な違いについてご説明します。相違点およびポーティングに関する詳しい情報はオンラインヘルプ、「インストールおよび利用ガイド」、および「ユーザマニュアル」第2章をご参照下さい。特に CONFIGURE 文の記述にご留意ください。

- * HTBasic - RMB 間で BASIC プログラムを転送するには、SAVE/GET コマンドを使いません。HTBasic for Windows と RMB とで直接 PROG ファイルを共有することはできません。
- * 実行環境をプログラマティックに HTBasic for Windows に決定するには、SYSTEM\$("VERSION:HTB") を使います。
- * HTBasic エディタでは、コマンドを実行した結果が直接スクリーン底部のメッセージ行に表示されます。
- * 操作によりエラーが発生する場合、RMB と全く同じエラー番号で通知されるとは限りません。例えば、規定範囲を超えた値が INTEGER パラメータに渡されると、あるプラットフォームではエラー19（規定範囲外の値）を返すが、別のプラットフォームではエラー20を返す（整数オーバーフロー）ということもあります。
- * PRT プリンタアドレス定数は、701 ではなく 10 (Windows プリントマネージャドライバの ISC) を返します。CONFIGURE PRT TO 701 を使って変更できます。
- * キーボード機能のマッピングについては、オンラインヘルプの「キーボード機能」、または「インストールおよび利用ガイド」の第8章をご参照ください。キーに対して機能を割り当てなおすには、CONFIGURE KEY コマンドを使います。
- * RMB の使用文字セットは Roman-8、HTBasic の文字セットは Latin-1 です。このため、Therefore, characters below CHR\$(32) 以降と CHR\$(128) 以前の文字の表示が異なります。詳しくは「ユーザマニュアル」の第3章をご参照ください。
- * RMB と HTBasic とでは負の番号を持つ描画ペンの機能が異なります。デバイスや描画モードによって、RMB では負の番号のペンが、該当色を消去あるいは補足します。HTBasic では、負の番号のペンはカラーマップインデックスを補足するものであり、色を補足するものではありません。
- * HTBasic では各行セグメントを描画するたびに行パターンをリスタートします。RMB では連続する複数の行セグメントに亘って行パターンを続行します。
- * HTBasic では、ON...CALL 文のデスティネーションを削除することができます。RMB では、これらの SUB を削除しようとするエラーになります。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>

* HTBasic で CAT TO S\$(*) を実行すると、最初の配列要素に"DIRECTORY:"というテキストが挿入され、その後に実際のディレクトリ名が格納されます。

* RMB はソフトキーマクロ用に 3072 バイトを予約しています。HTBasic は、この目的のために 1024 バイトを割り当てています。

* I/O の相違点:

- 今回リリースで利用可能な TRANSFER の機能は限られています。詳しい情報は、io_info.txt をご参照ください。
- ENTER 文内でのエラーおよび EOF の取り扱い方が異なることがあります。

* 大容量ストレージの相違点:

- ファイル名のワイルドカードが使えるのは CAT 文のみです。
- HTBasic では、RAM ボリュームが生成されないように INITIALIZE をサポートしていません。RAM ボリュームには DOS 用 RAM ディスクプログラム(VDISK.SYS, RAMDISK.SYS 等)をご利用ください。これらのボリュームには、他の DOS ディスク(C:, F:など)と同様にアクセスできます。
- ファイル形式やファイル内のバイト順が異なる場合があります。詳しくは「リファレンスマニュアル」の ASSIGN 文の項をご参照ください。

* MSUS 書式:

RMB の書式: [directory path] [filename] [:msus]
HTBasic の書式 [drive:] [directory path] [filename]

CONFIGURE MSI を使うと、RMB用の書式を HTBasic 形式へマップすることができます。

* 以下の RMB CSUB ユーティリティは提供されていません。

PHYREC: 代替なし

GDUMPC: カレントの Windows プリンタがカラー対応なら、DUMP GRAPHICS により自動提供

BPLOT: GLOAD および GSTORE の拡張機能として Bload() および Bstore() 関数を提供

* PRINT のプリンク属性はサポートされていません。

[お問い合わせ先]

アイネット株式会社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

Tel: 03-5623-2301 Fax: 03-5623-2305

E-Mail: sales@i2net.co.jp URL: <http://www.i2net.co.jp>